



府連通信
2017年12月号

日本中国友好協会
大阪府連合会
〒530-0012
大阪市北区
芝田2-3-19
東洋ビル本館207
TEL06-6372-8131
FAX06-6372-8132
郵便振替口座
00970-5-8978
E-mail: info@
jcfaosaka.org
http://
jcfaosaka.org/

百科検定特別企画講演会開催される 「日中関係と民間交流の新たな扉を開く」

11月18日、芦屋市民センターで
来年3月21日実施の「中国百科検定」特別企画として関西ブロック主催「日中関係と民間交流の新たな扉を開く」のタイトルで講演会が開催されました。講師は、神戸学院大学が客員教授として招聘している、中国社会科学院日本社会科学研究室長で中国社会科学院大学教授の胡澎先生。全体で33名、大阪からは8名の参加がありました。
「日本社会を研究しているが、友好運動の専門家ではない」と断りながら、日本との出会いを、小学生時代の映画、コドラマを通じて知ったと話されました。

1972年に国交が正常化されてからの45年間は、必ずしも順風満帆とは言えず、昨今の日中関係を見ると、歴史問題、領土問題で摩擦が絶えないが、関係の根幹を為す「平和と発展」のテーマは変わらず、政治、経済、



1972年の日中共同声明をはじめ、78年、98年、2008年の四つの文書が両国関係の政治的原則であり、友好関係の原点であり、今日の日中友好関係は戦後両国国民の努力によってもたらされたものであることも間違いないと強調。今後「大きな政府、小さな市民社会」から「小さな政府、大きな市民社会」になっていくことが中国の発展にとって大事であり、同成や環境保護、老人

成や環境保護、老人介護の分野での協力促進がますます重要で、今後も民間友好団体の草の根からの交流に期待を表明されました。中国百科検定対策講座が一月から5回計画されています。(下記参照)
(松尾豊)

「80年目の南京」つどい

11月26日大阪市内ドーンセンターで「80年目の南京」のつどいが450名近くの参加で開かれました。閉会の挨拶を渡辺武会長がされました。



「ただいま江蘇省テレビ局作成の新しいドキュメンタリー作品『外国人が見た南京大虐殺』を拝見し、多数の高齢被害者・加害者の生々しい証言に接して、日本軍による首都南京武力占領の実態を改めて具体的に知ることが出来ました。

この作品の主役松岡環さんの元日本兵士三谷翔さんへの最後のインタビュー映像も感動的でした。また、当時の国策迎合のマスコミ報道を明らかにし、現代への警告とされた毎日新聞湯谷茂樹記者のご講演も心に残りました。

『南京事件』の事実さえも消

2018日中友好春節のつどい

2月4日(日) 12時(予定)

大阪中国帰国者センター

(東淀川区柴島3-10-19)

阪急 京都線 崇禅寺駅10分、

千里線 柴島駅8分

会費3000円 本格的な中

国家庭料理を用意します

広場舞や二胡の演奏、帰国

者や帰国者二世の人たちとの

交流を予定しています。

第4回中国百科検定

http://www.jcfa-net.gr.jp/kentei/

検定日3/21(祝)15:00~50分

大阪難波 代々木ゼミナール大阪南校

申込期間 12/1(金)~2/21(水)

申し込みは大阪府連合会事務局まで

中国百科検定対策講座日程

1/20(土)14:00 講師：西村成雄 「中国近現代史」

会場：同志社大弘風館31号

1/27(土)13:30 講師：瀬戸宏 「文化芸術」

2/17(土)13:30 講師：井手啓二 「中国共産党19回大会」

会場：国労会館第2会議室 2/26と3/3も予定

帰国者理解を深めるつどい

11月9日(木)「中国残留邦人等への理解を深める集い」が東淀川区の大阪中国帰国者センターで開かれました。集会には朝日新聞、読売新聞、テレビ大阪などが取材に、参加者は約90名、大阪府連からは10名が出席しました。

第一部は辻本角義理事長による講演「中国残留邦人等の歴史と現状」つづいて中国残留邦人二世、王海峯さんによる体験談



王海峯さん 国東北地方名物の家庭料理―水餃子、お茶卵、唐揚げ、サラダなど舌鼓を打ちま

王さんは何不自由のない恵まれた環境で育ち、文化大革命二年目、20歳のとき母が日本人であることを初めて知らされました。その後は一転してたいへんな苦勞をされました。日本人の

干支戌(いぬ) 西支部きりえ講習会

11月23日、恒例の干支・きりえ講習会は、来年の「戌」を題材に行ないました。昨年より少ない参加でしたが、新鮮な方が二人参加され、稲田雪男先生もこそとばかりハッスル、懇切・丁寧に指導され、手際よく戌



を切り抜きました。初参加の方は「当初は戸惑いがありましたが、形が見えて来るうちに何かワクワクとしてきました。アドバイスをいただき、飾りつけも出来ました」と語っておられました。(平松悦雄)

女性部 交流できる企画を

6月に再スタートした女性部は、8名の運営委員で府連役員をサポートしながら運営委員会を開いています。女性部の今後の活動については、

①10月の「戦地からの手紙」の講演とシンポジウムで講師やパネラーから課題として出されたことについて学んでいく。

②女性会員相互の交流ができるような企画を考えていく。具

楊貴妃で有名な西安や

中国革命の根拠地延安を巡る

西安の兵馬俑はぜひ一度、見てみたいと思っていた場所だったのすが、市内に残された張学良や楊虎城の記念館など、この事件と関係のある舞台が予想以上に大切に

内をもらって、同じ行くなら、やはり観光のみというより「学習」というテーマのある旅も魅力的だと思ひ、先のツアーをキャンセルし、学習の旅を選びました。

日本の侵略と闘う「抗日」という大目標で大同団結して第二次国共合作を成功させる契機になった1936



西安の兵馬俑はぜひ一度、見てみたいと思っていた場所だったのすが、市内に残された張学良や楊虎城の記念館など、この事件と関係のある舞台が予想以上に大切に保管され公開されているのには、驚きませんでした。

唐時代の長都文化大酒店の周辺に、回族が安のイメージ開く庶民の露店や店舗があり朝夕、安は、中国近人民対外友好協会への表敬訪問の代史のエピソードと訪れた、回族のにぎやかなイストラム商店街は、大型観光バスもどっと押し寄せていて、今の生きが、改めて強でした。(岸和田市 深井文昭)

太極拳 新春初けいこ

1/7 国労会館 13:00~

大阪府連主催

1/8 守口体育館 10:00~

守口太極拳班主催

いずれも参加費1000円 24式、48式など



く印象に残りました。いま西安は人口920万人、40以上の大学のある大都市になっています。

同じように今や大きな町となった中国革命の根拠地・延安。毛沢東や劉少奇、朱徳などの住んでいた旧居や、『中国の赤い星』を書いて毛沢東の名を欧米に知らせたエドガー・スノウとの対談の場所、保管され公開されているのには、驚きませんでした。

連泊した西安市内のホテル(古都文化大酒店)の周辺に、回族が安のイメージ開く庶民の露店や店舗があり朝夕、安は、中国近人民対外友好協会への表敬訪問の代史のエピソードと訪れた、回族のにぎやかなイストラム商店街は、大型観光バスもどっと押し寄せていて、今の生きが、改めて強でした。(岸和田市 深井文昭)